



# 仲西幼稚園のママ たちは知りたい！ 認定こども園の 気になるコト

浦添市立幼稚園の預かり保育の利用者数は年々増加しており、全園児の約6割が利用していることから市立幼稚園においても、保育園と同様の保育ニーズが高い状況となっています。このような中、浦添市では市立幼稚園の今後のあり方について検討を重ねた結果、すべての市立幼稚園を幼稚園と保育所の機能を併せ持つ「幼保連携型認定こども園」へ移行することとし、平成 30 年度は市立仲西幼稚園を認定こども園へ移行します。

こども政策室(内線 2518)



優先順位は？  
5歳児はみんな  
入ることができる？



2歳保育園、  
5歳年中、小1のママ  
名城 愛梨さん

## 4歳児、5歳児クラスについては、 校区内の子どもを優先します。

校区内の子どもを優先し定員に応じて3歳から5歳児の子どもを受け入れます（施設の状況により4歳児、5歳児クラスの園もあります）。ただし3歳児については待機児童解消のため、当面の間は就労世帯を優先しますが1号認定の枠も設けます。5歳児の1号認定については基本的に全員受け入れる予定です。仮に1号認定の申し込みが想定以上に多くなる場合は2号認定については利用調整を行います（隣接する保育所への利用調整を行う予定です）。

浦添市で初めての認定こども園となる仲西こども園を運営する法人の選定が9月に行われました。今後は、仲西地域にお住まいの人を対象とした説明会を選定された法人と合同で開催します。仲西こども園への円滑な移行に向けて、公私一体となって取り組んでいきます。

平成 31 年度認定こども園移行予定園については

10月中旬に市ホームページで  
お知らせいたします。

1号認定と  
2号認定の部屋は  
別々になるのですか？

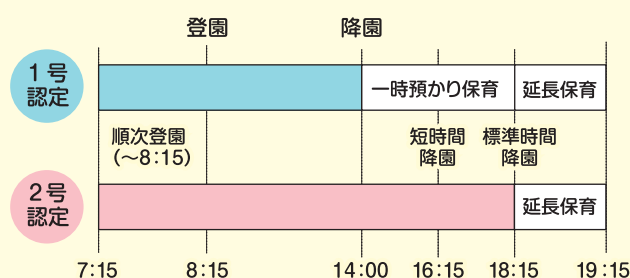


中1、5歳年長のママ  
知念 ひとみさん

## 同じ部屋になりますが、 帰宅時間が変わります。

1号2号で分けることはなく、同じ部屋で教育を受けて午後2時になると1号の子は帰宅し、2号の子はそのまま保育を受けます。また、午前と午後で担任が入れ替わることはありません。基本的には、保育所と同様のシフト勤務になると考えています。各年齢ごとにクラス担任が配置され、午前の教育時間から午後の保育時間まで連続したカリキュラムに沿って子どもたちは園で過ごします。

### ■ 認定こども園での過ごし方



保育料は  
どうなるの？



5歳年中、小3、  
小4、小6のママ  
仲間 美奈さん

## 世帯の所得に応じて、 保育料が決まります。

保育料は世帯の所得に応じて国が定める基準額を超えない範囲で、市町村が定めています。公立幼稚園の保育料と認定こども園の保育料を比べると高くなる世帯もありますが、2号認定では逆に安くなる世帯もあります。急激な負担を緩和するため、平成 30 年度の仲西こども園の保育料は一部の世帯で据え置く予定ですが、2号認定は基本的には市立保育所や認可保育所と同じ選考基準、同じ保育認定による施設の利用となりますので保育料は統一されています。このほか、世帯の所得状況により2番目以降の子どもの保育料が軽減される制度もあります。（多子軽減制度）

| 年 齢     | 保育の必要性 | 支給認定区分 |
|---------|--------|--------|
| 満 3 歳以上 | なし     | 1号認定   |
|         | あり     | 2号認定   |
| 満 3 歳未満 | あり     | 3号認定   |

※ご自身が何号に該当するかは P.6 で確認ください。



認定こども園では  
どんなことが  
できるの？



6歳年長、1歳のママ  
宮城 美奈子さん

1. 保護者が働いている、いないに関わらず利用できます。
2. 土曜保育、夏休み、春休み等も保育を行います。
3. 食の安全、衛生管理等、基準に沿った給食を提供します。  
仲西こども園は法人が運営する公私連携型こども園ですので、給食は運営する法人が国や県の基準（衛生管理、安全管理、アレルギー等の配慮など）に沿って提供することになります。
4. 地域型保育事業（小規模保育事業所等）の連携施設として卒園児（3歳児）を受け入れます。
5. 特別支援学級の受入の拡充  
特別な支援を必要とする子の受け入れが現在の幼稚園では5歳児午前中のみですが、各年齢に応じた受入を行い、午前から午後まで連続した受入体制になります。
6. 先生が1クラス 35対1→30対1に  
職員の配置基準が、現在の幼稚園の基準である1クラス 35 人に対して先生1人から1クラス 30 人に対して先生1人の配置となることによりきめ細やかな対応が可能になります。
7. 民間ならではの経験を生かしたカリキュラム  
公私連携型では、民間ならではの豊富な経験、運営する法人が培ってきたこれまでのノウハウを生かしたカリキュラムにより子どもたちへ特色のある教育と保育の提供が期待できます。